



けや中だより

第15号
令和3年3月15日
三田市立けやき台中学校



大切な3月をしめくくる

校長 谷本 正弘

突然の「全国一斉休校」から一年が経ちました。今まで経験したことのない困難な一年でしたが、ここまで教育活動を行えたのも、さまざまな制約の中、我慢強く頑張りました生徒たち、支えていただきました保護者や地域の皆様のおかげと感謝をしています。

大切な3月です。緊急事態宣言が解除されましたが、気を緩めず、感染予防対策を続けていきます。健康で安全に生活し、良いしめくりができるよう、みんなで頑張りたいと思います。

3月3日、3学年で行う今年度最後の生徒集会（放送）で、次のような話をしました。

先日、地域の民生委員の方から、次のような良い話を聞きました。

「けやき台中学校の男子生徒3名が、下校中、けやき台に住むご高齢の女性に対して優しく声をかけ、1時間近く話をしてくれたようです。とてもやさしい生徒さんがおられます。」という喜びのお話でした。優しい生徒がいることを、私も嬉しく、誇りに思います。

さて、テニスの大坂なおみ選手が、全豪オープン女子シングルスで、四大大会4度目の優勝を果たしました。彼女は、いかなるピンチにも動じない力強いプレーをします。そして、人種差別や性差別などに抗議するメッセージを出し続けています。自らの立場を見つめ直し、心の強さが磨かれたと言われています。

私は、決勝戦と、直後の優勝インタビューをテレビで見ました。優勝の喜びやコロナ禍での大変さなど、自分の気持ちを爆発させても全く不思議ではありませんでした。しかし、インタビューで彼女が最初に口にしたのは、対戦相手のプレイディ選手とそのチームスタッフへの称賛、褒めたたえる言葉だったのです。そして、次々と様々な人への感謝が続いたのです。自分のチームスタッフ、試合を見に来てくれた観客、ボール拾いをしてくれたボールキッズ、大会ボランティア、大会を開催してくれた全ての人々への感謝です。相手選手に対する敬意と、たくさんの人たちへの感謝の気持ちを語れる大坂選手を、とても素晴らしいと思いました。

大坂選手のインタビューを今の自分に当てはめて考えるならば、皆さんはどのような人たちに感謝を述べるでしょうか。卒業式、修了式という節目のこの時期、多くの人たちの「お陰」に気づき、「お陰様で」と感謝を口にしてほしいと願います。

1人1台のタブレット

文部科学省のGIGAスクール構想(1人1台のタブレット/パソコンを配置、高速大容量の通信ネットワークを整備)が、三田市においても進んでいます。本校でも、生徒と教員に1人1台のタブレット/パソコンが配布され、授業で少しずつ使い始めています。

2月26日には「3年生を送る会」(体育館)を行い、1,2年生は各教室でズームにより、生徒会の主催する劇やクイズ、「ちゃんへん。」さんのジャグリングと講演を楽しみました。

タブレットを使った活動の様子は、今後、学校ホームページに掲載していきますので、ご覧ください。



3年生の皆さん、卒業おめでとうございます

「けやき台中学校の皆さんに、緊急団結宣言を発令します」

生徒会長によるこのメッセージが、学校行事に取り組むスタートでした。特に3年生は、体育大会や文化祭、部活動、生徒会活動など学校生活のあらゆる面でリーダーシップを発揮し、下級生の良き手本となってくれました。愚痴を言うのではなく、知恵を出し合い、前を向いて取り組む姿をいつも嬉しく思いました。

さあ、卒業式には3年生一人一人に卒業証書を手渡します。卒業証書は生徒の皆さんだけのものではありません。ここまで大切に育てて下さったご家族、保護者の皆さんのものでもあります。立派な態度で受け取って下さい。厳粛な良い式にしましょう。

令和の新しい時代を創る皆さんの未来に幸多からんことを祈ります。

「いのちの根」 相田みつを
なみだをこらえて かなしみにたえるとき
ぐちをいわずに くるしみにたえるとき
いいわけをしないで だまって批判にたえるとき
いかりをおさえて じっと屈辱にたえるとき
あなたの眼のいろが ぶかくなり
いのちの根が ぶかくなる

3年生保護者の皆様へ

お子様のご卒業、誠におめでとうございます。本校教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。卒業証書授与式を下記のとおり行いますので、ご出席を賜りますようお願いいたします。

第34回卒業証書授与式

- 1 日時 令和3年3月17日(水) 開式 9時30分(受付:9:00~9:20)
- 2 場所 けやき台中学校 体育館
- 3 その他
 - ・感染予防のため、保護者の出席は1家庭1名とさせていただきます。
 - ・風邪のような諸症状がある場合は、出席をお控えください。
 - ・当日はマスクを着用し、「卒業式出席証」、上履きをご持参下さい。

4月のおもな予定

- 7(水)離着任式・始業式
- 8(木)入学式準備、2・3年生給食開始
- 9(金)第35回入学式(2・3年生は自宅学習)
- 13(火)1年生給食開始(午後下校)
- 14(水)新入生歓迎会・部活動紹介・仮入部見学開始
- 23(金)1年生授業参観、1年生転地学習説明会
- 26(月)仮入部最終日
- 27(火)本入部開始
- 28(水)2・3年生授業参観・3年生修学旅行説明会

※春休み中の離任式はありません。離任される先生については、4月7日にお知らせするとともに、学校ホームページにも掲載します。

※PTA総会は書面決議となりますので、開催されません。

学校評価報告

お忙しい中、学校評価アンケートに回答いただきありがとうございました。2月19日(金)、学校地域運営協議会(学校関係者評価委員会を兼ねる)を開催し、アンケート結果及び、学校自己評価に対して意見をいただきました。皆様からいただいた意見につきましては、次年度の学校経営に活かしてまいります。なお、裏面に「学校評価報告書」としてまとめているので、ご覧ください。学校ホームページにも掲載いたします。

2020年度 学校評価報告書

学校名	三田市立けやき台中学校
-----	-------------

1 学校教育目標

「夢や希望をもち、目標に向かってたくましく生きる生徒の育成
～明るく、わ(和・輪)のある学校～
めざす学校像
◆活気に満ちた規律ある学校…あいさつ、活気のある授業、マナーアップ(言葉遣い・服装)
◆学ぶ環境の整った、安全で美しい学校…適切な危機管理、掃除が行き届いている
◆地域の学校として、信頼される…学校・家庭・地域、異校種、関係機関との連携、情報発信

2 今年度の学校重点目標

- ①自尊感情を高める ②学力向上に向けた授業改善
- ③人権教育・特別支援教育の充実
- ④新しい学習指導要領に対応した取組の充実
- ⑤生徒指導の充実 ⑥家庭・地域との連携
- ⑦学校園所連携の推進 ⑧学校業務改善(勤務時間の適正化)

3 総合的な自己評価

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程の実現」(学校が地域社会との連携や協働をより一層推進していくこと)が求められている。情報発信、学校支援ボランティアの導入に努め、家庭や地域の理解と協力を得ながら、学校教育目標の実現を図ってきた。なお、アンケート結果で教職員と生徒・保護者の割合が異なるものについては、更なる周知と連携した家庭、地域との取り組みの必要がある。

4 総合的な学校関係者評価

コロナ禍の中、さまざまな対策をとり、安全で有意義な教育活動が行われてきた。特に、課題であった学校支援ボランティアの活用や情報発信に力を入れ、教育環境の充実と信頼される学校づくりが行われてきたことを評価する。「楽しく学校に通う」「学力向上」は生徒・保護者の強い願いである。このことを受け止め、一層の生徒理解と自尊感情の育成に努めてほしい。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校教育目標	学校教育目標や重点目標、目指す生徒像・学校像を意識した教育活動が日々実践されているか。	目標に向かって、日々前向きに頑張っており、おおね良好と言える。学校行事やオープンスクールで参観いただけなかったのが残念である。	学校教育目標やめざす生徒像、学校像の浸透を図る。積極的な情報発信やオープンスクールの実施に努める。	学校教育目標やめざす生徒像・生徒像の確立に、引き続き保護者・地域一体となって取り組んでほしい。
	生徒が学習する場としてふさわしい教育環境が整っているか。	保護者や学校支援ボランティア(行事受付・巡回・写真ビデオ撮影、生け花、図書、登校時の挨拶・見守り等)の協力により、学習環境の整備が進んだ。	地域やPTA、生徒会、部活動と連携し、一層の環境整備充実を図る。また、不審者対応訓練なども行い、危機意識を更に高めたい。	学校支援ボランティアの導入と活用がスタートし、学習環境の整備が進んだことは、大変評価できる。
教育課程 学習指導	適切な時期と目的により、充実した学校行事を実施できているか。	コロナ禍でも工夫により、安全で有意義な学校行事や部活動、生徒会活動ができた。また、学校行事を学校HP、通信、DVD等で発信できた。	望ましい人間関係や所属感、連帯感を深めるべく、今後も工夫して実施する。ICTの効果的な活用も図りたい。	コロナ対策を生徒や保護者に事前に伝え、安全に学校行事や部活動、生徒会活動ができたことは大変評価できる。また、HP等を通じて、わかりやすく発信できたことは大変良かった。
	「学力向上指導改善プラン」に基づき、授業改善・家庭学習の充実・学力補充・小中連携の充実・読書活動の充実に取り組んでいるか。	教職員の意識した取組は進んでいるが、授業や家庭学習・読書、学力補充については、保護者の期待が特に大きい。	「学力向上指導改善プラン」を一層推進する。1人1台のタブレット端末と通信環境の活用を図るべく、研修と実践を進める。	学力向上は、すべての生徒、保護者の願いである。どの生徒も意欲をもって学習できるよう、授業の工夫や学習相談の実施、日々の声掛けなどをお願いする。

生徒指導	教育相談の充実により生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に取り組んでいるか。	生活アンケートや教育相談などを有効に活用するなど、教職員の意識した取り組みが進んでいる。	生徒理解と早期発見早期対応に一層努める。挨拶については、家庭や地域、生徒会と一体となり取り組みを進める。	場面に応じた服装や行動ができる点は素晴らしい。勉強だけではなく、行事や部活動、委員や係・当番・優しい行動など、良い点や頑張りを大いに認めてほしい。
	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応できているか。	いじめ対応チームで情報共有と方針決定を行うなど、組織的に取り組んでいる。	生活アンケートや教育相談を継続するとともに、日常より生徒に向き合う時間の確保と積極的な声掛けを行っていく。	どの生徒も不安や悩みを持っている。普段から相談しやすい環境を一層つくってほしい。
家庭・地域との連携	通信やHP、オープンスクールによって家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくり・信頼される学校づくりができているか。	学校HPのアクセス数も大きく増加し、アンケートからも情報発信を大変評価いただいている。	ミマモルメやHPによって、今後も積極的な情報発信を行う。また、教職員の定時退勤についても、理解を得ていく。	来年度は、保護者の参観ができる工夫をお願いする。入学する6年生児童への出前講座(学校紹介)は、不安を解消する良い取組であった。
	学校運営へのPTAや地域住民の参画、及び協力を推進しているか。	保護者や学校支援ボランティアの方々にも大変協力いただき、生徒の学習環境の整備が進んだ。	来年度、環境整備の学校支援を依頼している。学習補助などの活用も検討したい。生徒にも、地域へのボランティア参加の機会をつくりたい。	今後も、保護者や地域の協力を積極的に生かしながら、生徒の学習環境の整備を一層進めてほしい。また、生徒たちの地域での善行はとても嬉しいことである。地域とともにある学校であってほしい。